

である。かくの資本家又官僚の反撃が強引極力アホム、機械業組合
會社、大業組合、耐火薬會、國立連盟、共に敵意甚深なるを以てし
且組合、大業組合、耐火薬會の前掛懸念する大財團は、既往の團體合
大業組合、耐火薬會、

補助費又は支拂ふ事無く成る事無くものである。
大業又は耐火薬會が、共同懸念して、活動した所外と、何の承認
又は懸念した。

の原因あるに於ける事無く、即ち即の責任の一端を負ふものと云ふ。而
第、上條「アーバニヨードの解説せる大業組合委員会の理由中大業の更
大會は盲導の結果、これが實質」五一、大業組合委員会のヨホヤ問題
ハ、食料供給・」のクロリ、この下の譲り受け、モテ難ち大業者
群衆アヨリ資本家又は大業の責任アヨリ、アヨリ難い」五一、「附文
通大業の向ひア勝利の大業の辯護も子供也一回資本家側の怨懶論を
議に參加した。

賄團法入協調會大該支所

の共同によつてのみ對抗し得ることを知り地方的共同より全國的共
同への階梯として出來たものであつたが一部のダラク幹部は常に共
同戰線を破らんとすることがあつたが、よく之が統一と全國的共同
への促進の爲に戦つた。延いては六月二十日の全國櫻勞團體組合會
議は遂にダラクせる日相見主義幹部の爲に流災産の餘儀なきに至つ
たが尙大改組合會議を一所鞏固にする爲七月二日の大阪労働組合會
議に參加した。

諸惡法徹廢運動

今一ヶ年の資本家階級の戰術は極度に労働組合運動壓迫に主力を注
ぎ労働組合法、爭議調停法、治安維持法、暴威取締法の諸惡法案が
矢継早に制定された之に對し吾等は諸惡法案の改廢運動組織に努力
を致した。殊に労働組合法はその名に反し労働組合取締の感を呈し
労働組合の大團結を阻害する手段であつた。之に對しては完全な組